

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月10日

計画の名称	魚津市における道路構造物の適確な維持管理の推進（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	魚津市											
計画の目標	老朽化した道路構造物を点検し、これを踏まえた、計画的・戦略的な維持管理・更新をすることにより、市民の命及び暮らしを守る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	457	A	457	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		R2末
1	魚津市において消雪施設の更新必要箇所のうち対策を実施した割合を向上させる。 消雪施設の老朽化対策率（%） = 対策済箇所数 ÷ 市道上の未対策（未更新）箇所数	10%	%	57%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	魚津市	直接	魚津市	市町村道	修繕	(1) 上村木カーバイド線 他 上村木一丁目他	道路附属物等修繕 7基	魚津市						7	未策定	
	A01-002	道路	一般	魚津市	直接	魚津市	市町村道	修繕	(他) 南又線他 三ヶ他	災害防除 0.1km	魚津市						50	未策定	
	A01-003	道路	雪寒	魚津市	直接	魚津市	市町村道	雪寒	(他) 経田西町北鬼江線 他 青島他	消雪施設更新	魚津市						225	未策定	
	A01-004	道路	一般	魚津市	直接	魚津市	市町村道	点検	(1) 魚津駅友道線他 道 路附属物点検	道路附属物点検	魚津市						15	未策定	
	A01-005	道路	一般	魚津市	直接	魚津市	市町村道	修繕	(2) 出金山谷線 舂田	災害防除 0.18km	魚津市						160	未策定	
											小計						457		
											合計						457		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 魚津市で実施	事後評価の実施時期 令和3年4月
	公表の方法 市のHPにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化した構造物を点検し、安全性が低下した個所の維持管理・更新を実施した。 定量的指標の目標値は未達であったが、これは、予算状況と事業の優先度を勘案し、道路利用者に対する冬季時の道路交通に影響を及ぼさない範囲で、修繕・更新事業を先送りしたためである。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
老朽化対策率を向上させるため、次期計画においては、計画目標と実施状況の乖離を毎年見直し、進捗状況を是正する。計画的・戦略的に維持管理・更新するため、継続して予算要求を実施し、事業費を確保する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	消雪施設の老朽化対策率	
	最終目標値	57%
	最終実績値	14%
		予算状況と事業の優先度を勘案し、冬季時の道路交通に影響を及ぼさない範囲で、修繕・更新事業を先送りしたためである。